

町政懇談会の記録

	地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
1	大間	R7. 10. 23	02道路・交通・建物	ひまわりバスのフリー乗降	瀬戸内バスが国道でフリー乗降をしていた。ひまわりバスでもフリー乗降を導入してほしい。アプリなどをいれて、どのあたりにバスが来ているかを確認できるようにしたらよい。	財政課	運行事業社にフリー乗降について相談したところ、実施するためには次のような一定の条件を満たした上で、警察の許可を得る必要があるとのことです。 ・交通量が極めて少なく道路状況の良好な区間であること ・交通安全上の措置が講じられていること ・その他事故防止対策が整備されていることなど、 しかしながら、現状のひまわりバスの運行路線においては、安全性の観点からこれらの条件を満たすことが難しく、運行事業者からは、安全確保を最優先する観点から、フリー乗降の導入には慎重な姿勢が示されたため、地域の皆様には引き続き御理解と御協力のほどお願いいたします。 なお、ひまわりバスは伊予鉄のスマホロケーションシステムに対応しており、あと何分でバスが発車するか、目的地への到着時刻、通過した停留所の情報などをスマートフォンで確認することが可能となっておりますので、ぜひ御利用ください。 〔スマホロケーションシステム〕 https://www.iyotetsu.co.jp/sp/rosen/busloca/
2	大間	R7. 10. 23	11文化・歴史	教深寺の立札	教深寺の立札にQRコードをつけてほしい。多言語表記をいれるとか、たくさん情報を加えることができる。	社会教育課	御提案のとおり、立札にQRコードを付すことにより多言語の説明が表示されれば外国の皆様にも文化財について理解していただけるようになり、インバウンドにも対応することができるようになります。 まずは、教深寺の立札に設置して試験的に実施してみたいと思います。 文化財の保存・活用について、貴重な御提案をいただきありがとうございます。
3	大間	R7. 10. 23	09観光	サイクリングルート、工場見学、ナイトクルーズ	上記のQRコードについて、様々な場所において実施し、サイクリングコースと組み合わせて、周った人はまっさきポイントをもらえる仕組みを導入してはどうか。 他にも町にあるモノづくり工場や食品工場、JRの基地などを見学できるようにして、それらをめぐってもらってはどうか。 また、夜に船を出して町の老舗の弁当を食べながら、海から工場見学するのはどうか。	財政課	町の観光について、御提案いただきありがとうございます。 サイクリングコースの走行によるまっさきポイントの付与は、QRコードでは真否の担保などから難しいですが、写真のアップロードなど手段をかえれば実現の可能性があるので、担当課との調整を検討させていただきます。 工場や貨物基地の見学は衛生面や機密面などから企業側のデメリットがあり、町内では観光向けには実現していません。しかしながら、学校や町に対しては対応している企業もあるため、御意見を参考にさせていただき、観光利用ができるよう検討していきたいと思います。 夜の船での工場見学等は、松前町の新しい観光事情のアイデアとして受け取らせていただきます。引き続き、皆様とともに、観光の充実に向けて取り組んでまいりたいと思いますので、御理解と御協力をお願いいたします。
4	大間	R7. 10. 23	12その他	町政懇談会の形式	大字の行事にあわせた町政懇談会ではなく、本日の大間地区のようにきちんと話ができる町政懇談会を続けてほしい。	総務課	町としても、直接皆様のお声を聞くことができる町政懇談会は大切なものと考えております。 今年度は、これまでのように副町長以下幹部職員が訪問して、町政懇談会を行うのではなく、ざっくばらんに意見を聞くことを重視し、町長と総務課職員のみが大字を訪問し、大字の望むスタイルで行っています。 大字によっては行事に併せて話を聞いたり、従来の話し合いのスタイルで行ったりしますので、今年度がどうだったかを踏まえて、次年度以降の実施方法を決めてまいります。
5	大間	R7. 10. 23	02道路・交通・建物	ひまわりバスの増便	デマンドタクシーをすすめるのではなく、ひまわりバスの便を増やしてほしい。小型にして、2台にしてほしい。	財政課	御提案のありましたバスを2台体制とすることは、財政面での負担が大きく、現時点では実施が難しい状況です。しかしながら、今後のルート再編にあわせて、例えば14人乗りの小型バスを導入し、より狭い道路にも対応できるようにするなど、運行形態の見直しについて公共交通活性化協議会の中で検討を進めていきたいと考えています。 また、バスだけでは十分に対応できない地域もあることから、バスとデマンドタクシーを併用するなど、地域の実情に応じた柔軟な交通手段の確保についても、併せて検討してまいりますので、御理解と御協力をお願いいたします。

	地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
6	大間	R7. 10. 23	01防災	防災学習会	南海トラフ地震がきたときのために、防災対策にもっと力を入れてほしい。各地区で防災学習会をしてもらうとか、町民全体の意識があがって、取り組みができるように町で施策をお願いしたい。	危機管理課	防災学習会等に関しては、各地区の自主防災組織を通して、年間を通じて防災講座・防災訓練への御協力をさせていただいております。自主防災組織の意識向上・活動促進も含めて、内容の御相談は、お気軽に危機管理課へ御連絡ください。 活動実績としては、令和6年度は16件、今年度も11月30日現在で、12件の活動を行っております。例年9月に実施している松前町総合防災訓練の内容の改善も含めて、今後も、町民の方の防災意識の向上に取り組んでいきたいと考えております。 また、自主防災組織活動の育成、防災意識の普及を目的とした「松前町自主防災組織活動育成補助金」の交付も行っておりますので、各地区の自主防災組織の活動支援として御活用ください。
7	大間	R7. 10. 23	01防災	伊方原発	松前町民を伊方の原発の被害からどう守るかということが、町の防災対策にはない。地震などの自然災害に加えて、近隣諸国からの攻撃でも原発は狙われるので、町としてもどうやって町民を守るかを考えてもらいたい。	危機管理課	原子力災害の発生及び被害の拡大防止、復旧を図るために必要な業務に関しては、原子力事業者の努めとなっておりますが、松前町においても、関係機関及び住民が防災対策に取り組むための基本方針として、「松前町地域防災計画（原子力災害対策編）」を定めています。同様に、武力攻撃事態等における国民の保護（「国民保護法」）に関しては、国レベルでの対応が主になってきますが、地方公共団体の責務として、「松前町国民保護計画」を定めております。 なお、伊方原発による被害想定・対応に関しても、地域における生活者の多様な視点を反映し、その他の多様な主体の参画に配慮しながら、状況の変化に対応できるよう随時見直しを行っております。 また、町民に対する原発の周知、防災知識の普及活動についても、令和7年2月に実施した「防災士フォローアップ研修」等により、エネルギー供給の課題（GX：グリーントランスフォーメーション）として、原子力を含んだ講演を行っております。 今後も、町民の皆様への原子力防災に関する知識の普及と啓発を図っていきたいと考えております。
8	大間	R7. 10. 23	02道路・交通・建物	道路規制とカーブミラー設置	集会所の前からの道が道路幅がせまくて、離合もできないので、朝も渋滞している。いつの間にか自宅の塀も当て逃げされていたりする。入ってくる速度を遅くさせるとか、東に離合できる場所を作るとかしてほしい。 大字の要望で遠方が見えるカーブミラーの設置もあげ続けているが、設置されず、逆に家が新築された際になくなったたりしている。	まちづくり課 危機管理課	御要望の道路につきましては、多くの皆様が利用する生活道路であることを十分に認識しています。 区間の安全対策につきましては、地区からの御要望により、平成26年度に減速を促すための破線や幅員減少の路面表示を設置しており、制限速度は30kmに規制されております。 離合場所の整備につきましては、通行の円滑化や安全性の向上に寄与すると考えますが、沿道には家屋が連担しており、離合場所を整備する適切な土地がないため、整備が困難な状況です。このため、沿道状況に変化が生じた場合に、整備内容について検討してまいります。 令和7年6月3日に大間地区から要望がありましたカーブミラー新設の該当箇所については、令和7年9月1日付け要望調査結果により、今年度の新設は見送る旨、大間地区に回答しております。 該当道路には、30kmの交通規制もされており、角度的にも、カーブミラー設置に対する効果が少ないため、現時点では設置に至っておりませんが、カーブミラーの設置の代わりとして、松前町交通安全協会岡田支部内で、注意看板の設置のお話をいただいております。 新築に伴うカーブミラーの撤去に関してですが、令和4年度に電柱に共架していたカーブミラーを電柱の移設に伴い撤去した経緯はありますが、区長さんと協議の上（移設箇所を検討しましたが）、移設箇所もないことから撤去しております。 今後とも、交通管理者である警察と協議し、安全性の向上につながる施策を検討してまいりますので、御理解と御協力をお願いいたします。

	地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
9	大間	R7. 10. 23	12その他	多文化共生	多文化共生で、外国人を受け入れていく流れがある。JICAのホームタウン制度など、移民問題や外国人の労働者の受け入れについて、町ではどのように考えているか。	財政課	町として移民を受け入れる制度はありませんが、今後は企業による外国人労働者の受け入れが増えていくと予測しておりますので、多文化共生は重要な課題であると認識しています。 なお、JICAのホームタウン制度は移民政策ではなく、多文化共生の考え方に基づく取り組みでした。SNSで発信される情報が全てではありませんので、複数のメディアを比較しながら、正確な情報を見極めることが大切です。 多文化共生とは、異なる文化を受け入れながら、共に暮らし、地域として成長していくことを意味しますので、地域の皆様と気持ちよく一緒に暮らせる環境づくりに向け、取り組んでまいりたいと思います。
10	大間	R7. 10. 23	04環境	メガソーラー建設	メガソーラーは環境破壊や土壌汚染があったりするが、計画があったりするのか。	町民課	御指摘のとおり、乱開発をして環境を破壊する場合のメガソーラーはよくありません。 松前町は、メガソーラーを増やしていく予定はありませんが、地球温暖化を防ぐために再生可能エネルギーを増やしていくことは、地球全体として考えなければいけない問題であります。 松前町といたしましても、令和8年度から蓄電池とEV車の補助について検討しており、再生可能エネルギーの拡充に努めてまいります。
11	大間	R7. 10. 23	12その他	アーバンスポーツ	スケボーの大きな会場を建てる計画があるということだが、建てた後に運営費などお金がかかってしまうのではないか。重信のスノーボード施設も閉館となり、伊予鉄スポーツセンターも閉館となる。	財政課	アーバンスポーツパークは公設民営での実施を考えております。 公設については、拠点整備交付金や地域活性化事業債など国費等を財源とした上で、残りを企業版ふるさと納税などを利用することでできるだけ町の財政負担を減らしてまいります。 また、整備した後の運営については、民間に委ねることで持続可能な方法を考えております。
12	大間	R7. 10. 23	05子育て	出産祝い金	子どもも2人目が生まれたらお祝い金を出すとかすれば、松前町に移って住んでくれる人も増えるのではないか。	子育て支援課	出産祝い金については、移住のきっかけになる場合もありますが、一方で出産祝い金をもらうためだけに移住し、数年で転出してしまうケースも実施している自治体では報告されています。また、移住については、自治体間で人口を奪い合うようなことにならないように考えています。 松前町では、令和5年度からえひめ人口減少対策総合交付金を活用し、育児用品及び時短・省エネ家電の購入費用に対して補助を行う出産世帯応援事業を創設し、経済的負担の軽減を図っています。また、近隣市町内（中予圏域）で補助金額の差が出ないよう取り組んでまいりますので、御理解をいただきますようお願いいたします。
13	大間	R7. 10. 23	02道路・交通・建物	自転車国際会議	愛媛でVelo-city（自転車国際会議）2027が開催されると思うが、松前町はその会議にどのように関わっていくのか。	財政課	Velo-city 2027 Ehimeは、自転車文化の国際交流や先進事例の学びを通じて、地域活性化、自転車を活用したまちづくりの推進、そして愛媛の魅力発信を目的とする国際会議です。 本年8月に示された基本方針によると、「安全な自転車環境の創造」をテーマに、会議、自転車パレード、視察ツアー、併催イベントなどが予定されています。例えば、松山市から松前町までの走行環境整備について議論される可能性もあります。 なお、現時点では市町の具体的な関与は示されておりませんので、松前町に関する情報が示され次第、随時お知らせしてまいりたいと思います。
14	大間	R7. 10. 23	12その他	アリーナ建設	アリーナ建設は慎重に行ってほしい。	財政課	アリーナ建設は、アーバンスポーツパークの先の構想として、民間の投資を前提として考えております。バスケットボールの運営事業者が整備する場所を考えていますので、もし、松前町が選定された場合、施設整備や運営は民間に委ねますが、開発許可などお手伝いできるところはしたいと思います。